

＋建築的対策で“院内感染リスク”を低下させる方法を解説！

◆院内感染は経営リスク

院内感染は患者やその家族に多大な苦痛を与えるばかりでなく、病院の信頼性という最も重要な社会的価値を損ない、さらにDPC病院ではその疾病治療費は病院負担となります。コロナ禍においては、院内から感染者が発生しただけで風評により外来患者数が減り、入院患者の移転などで経営の持続的な安定性を大きく揺るがす問題となりました。

◆感染対策は流行に合わせ段階的に

新型コロナウイルスにより全体機能へ大きな影響があり、結果、患者減により経営が悪化した病院が数多くあります。またその対策のため、院内改修や新病院計画の見直しをされている病院もあります。感染症の受け入れを積極的にやっていない病院であっても、院内で発生した場合は隔離、搬送を計画しなければならず、実際、どう隔離するか・他の患者はどうするのか苦慮した病院があります。

そこで重要なのは、平常時・拡大期・蔓延期を分けた、段階的な対応ができるように計画を行うことです。平常時には特別な設備はなくても、以下のように拡大期以降にオプションとして、外来の絞り込みや、最低限の職員配置で来院対応ができるように計画をしておくことが、スタッフ負担を少なく且つ安全に感染対策をする方法となります。

①感染拡大期など動線の分離が求められる場合には主入口を行き帰りで分断できるよう、扉を複数設けた風除室にしておく(図1)

②待合から検査部門への動線を複数設ける

③診察室や待合室については、インフルエンザや新型コロナウイルスのような飛沫感染防止を強化する必要がある感染症患者を受け入れる時期には、ウイルス吸着性のあるタイルカーペットを敷設できるように室のサイズを計画しておく、平常時やノロウイルス流行期には清掃性が良い塩ビシートに戻すことができるなど、用途によって使い分けが行える計画としておく

このように平常時の運用には影響せず、そのための大幅なコスト増も必要としない工夫は数多く存在しています。

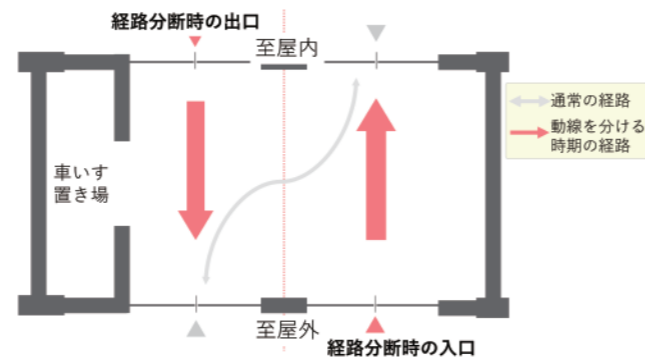


図1 分断可能な風除室

連載 これを知れば安心！ 建設コスト・プライスレポート

来期が発注の好機となるでしょう。

2020年度の建設市場はコロナショックにより、ほぼ全用途で前年度割れとなる見通しです。唯一伸びたのは物流施設でしたが、全体を下支えする程ではありません。ゼネコン各社の第3四半期決算も受注高・利益共に低減した会社が多く、来期見通しも下落傾向で厳しい状況です。

当社による独自調査でも競争が一層厳しくなっています。民間中心だった中堅ゼネコンが公共入札に参加したり、逆に数十億規模の民間案件にこれまで消極的だった大手が参加したりと、10社近い競争になった例もありました。どの会社も利益率を下げても今期受注を積み重ねなければならない様子です。

ただし、この状況が続く傾向はありません。大手銀行の見通しでは、人口減少等により民間投資は減少するものの、大型再開発やリニア関連工事が下支えし、中期的には横ばいの予想です。薄利受注にも限界があり、大手ゼネコンには受注が確実な固定客や大規模案件があるので無理をする必要がないため、2022年度は現在ほどの競争環境は望めない様子です。

しばらくは競争環境が整う好機となりますが、各社の受注状況をよく見極めることが重要になります。

社員紹介

前職では、大手デベロッパー、インフラ会社の発注者支援業務に携わりました。自分の提供するサービスを通してお客様に貢献する手応えとCM会社の将来的な可能性を感じ、地元大阪創業のプラスPMに入社しました。

現在は「すべてはお客様の立場で」の精神で、様々な規模・用途のプロジェクトに担当として携わり、日々学びを得ています。プライベートでは子供とともに水泳教室に通い始め、マスターズ水泳への参加を目指しています。今後もお客様のプロジェクトを成功に導けるよう、挑戦し続けたいと思います。



大阪本社
小川 直人
(おがわ なおと)

株式会社 プラス PM
代表取締役 木村 譲二

本社 〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目8番5号 西天満大治ビル
TEL 06-6363-6066(代) FAX 06-6363-6466

東京支店 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1丁目7番11号 KCAビル
TEL 03-3526-4181 FAX 03-3526-0801

ホームページ <https://www.plusweb.co.jp>

Eメール info@plusweb.co.jp

Plus PM Consultant Sdn.Bhd.(1054055-T)

Managing Director/CEO Joji Kimura

クアラルンプール 16-16, 16th Floor, Wisma UOA II, No.21,
Jalan Pinang, 50450 Kuala Lumpur, Malaysia
TEL+(603)2712-0263

ホームページ <https://www.plus-pm.com>

※本誌に対するご意見、ご感想をお待ちしております。お問い合わせ先は、上記Eメール又はたす通信編集部まで

＋さんむ医療センター建替整備事業の設計施工者が選定されました



本事業は、地方独立行政法人 さんむ医療センターを199床の病院として移転新築し、既存病院を解体するものです。

当社は2019年11月より、基本設計デザインビルド方式(基本設計DB方式)による発注を見据えた施設計画の策定・要求水準書の作成支援、設計施工者選定段階における発注者支援を行いました。

特に要求水準書の作成では、基本設計DB方式は設計図面が無い状態での発注となるため、後の設計段階・施工段階で大幅な建設コストの上振れを起ささないよう、建物に求める機能や仕様・条件を綿密に検討し、要求水準書に落とし込みました。

また、設計施工者選定段階では、お客様の望む病院の姿に沿った提案テーマの設定や、評価方法・評価項目・評価点の策定を支援しました。提案テーマや評価方法は応募者の取組意欲にも影響を及ぼすため、競争環境の構築についても念頭において業務を行いました。その結果、事業者選定のプレゼンテーションには、7グループもの応募者にご参加いただきました。

審査後、発注者であるさんむ医療センター様が公表された「建替整備事業にかかる事業者選定過程及び審査講評」に記載があるとおり、「いずれの分野も専門的な知見、ノウハウが活用され、各応募者のひとつひとつの提案内容が、深く研究・検討された秀逸な提案内容」であり、高い競争環境が構築されました。

今後も2024年2月の竣工に向け、全社一丸となって計画を支援して参ります。

さんむ医療センター建替整備事業

事業主：地方独立行政法人 さんむ医療センター
建設地：千葉県山武市
用途：病院
構造・規模：S造(免震構造)/地上4階建
延床面積：16,190㎡(予定)

C M：株式会社プラスPM
設計・施工：代表企業 株式会社奥村組
協力企業 株式会社内藤建築事務所
竣工：2024年2月(予定)



松山城東病院	
事業主	医療法人社団 慈生会
建設地	愛媛県松山市
用途	病院
構造・規模	RC造/地上5階建
延床面積	約5,600㎡
C	M：株式会社プラスPM
設計	計：株式会社共同建築設計事務所
施設	工：東亜建設工業株式会社
竣工	工：2023年5月(予定)

松山城東病院建替え計画の地鎮祭が執り行われました

松山城東病院建替え計画の施工者が選定され、地鎮祭が執り行われました。松山城東病院様は地域住民の方々との触れ合いを重視し、昭和42年に桑原病院として発足しました。長年地域医療へ貢献されてきましたが、建物の老朽化と地域ニーズの変化を鑑み、建替えを決断されました。本計画は90床の病院の建替え計画となっており、既存病院のすぐ南側の駐車場に新棟を建設し機能を移転後、北側の既存棟を解体して新たに駐車場とするものです。当社はコスト低減と円滑な事業推進のため、基本構想段階から新病院完成までをご支援しています。

運営中の病院の近傍かつ狭小地での現地建替え計画のため、施工者選定段階ではコストだけでなく、安全・安心に工事を行えるかという技術的視点での評価も併せて行う必要がありました。そのため、各施工会社から施工計画を中心に提案を募り選定を行いました。これからのよいよ工事がスタートします。関係者が一体となり、2023年の新病院オープンを目指します。



織本病院新病院計画	
事業主	医療法人財団 織本病院
建設地	東京都清瀬市
用途	病院
構造・規模	RC造/地上5階建
延床面積	約5,400㎡
C	M：株式会社プラスPM
設計	計：株式会社横河建築設計事務所
施設	工：株式会社フジタ
竣工	工：2022年7月(予定)

織本病院新病院の施工者選定が完了しました

本プロジェクトは、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧などの生活習慣病や消化器疾患の治療を主として、人工血液透析や人間ドック・健診、内視鏡検査などにも力を入れている医療法人財団 織本病院様の耐震化・老朽化を解消するために現地建て替えを行い、医療機能の充実、院内動線等の整備を図るものです。

当社は基本構想段階からCMとして参画しました。基本構想段階で東京都医療施設近代化施設整備費補助金の申請手続き支援を行い、補助金を獲得しました。

実施設計中に新型コロナウイルスの影響で医療環境の変化が起こり、建設費用削減の必要性が出ました。そのためVE提案付きの総合評価方式の入札を提案し、コスト削減へと務めました。また安全な工事を実施するため、技術的視点での評価も併せて行いました。安全面に配慮しながらコロナ禍の環境変化にも対応し、無事予算内の入札を実現しました。

2021年3月に着工、2022年7月の新病院完成を予定しています。その後既存建物の解体、外構整備を行い、正式にグランドオープンとなります。

津生協病院の実実施設計協力事業者選定を支援しています

三重県津市にある津生協病院様の移転建替え計画事業において、ECI方式による実施設計協力事業者(工事施工候補者)の選定を支援しています。

本計画では、病院様の求める機能を満足しながらも事業予算内での発注を実現するため、建設会社の選定は基本設計段階で建設会社を選定する「ECI方式」を採用しています。

現計画(選定用図面)での見積価格のみで選定を行うのではなく、建設会社の技術力や経験を本計画に取り入れ、最大限の成果を上げるための最良のパートナーを選定することを目的としています。総合的に新病院の設計協力、施工候補者としてふさわしい建設会社を選定できる方式として、総合評価方式による選定を行います。

具体的には入札者が示す「見積価格」と価格以外の要素として「技術提案」(例えば、実績や改善提案力、体制、人間性など)を総合的に評価します。

2021年3月に選定を終え、4月より建設会社が実施設計の協力を開始、2023年の新病院オープンを目指します。

(仮称)津生協病院		
事業主	みえ医療福祉生活協同組合	C
建設地	三重県津市	設計
用途	病院	施設
構造・規模	未定	竣工
延床面積	未定	竣工
		M：株式会社プラスPM
		計：株式会社三橋設計
		工：未定
		工：未定



白十字病院	
事業主	社会医療法人財団 白十字会
建設地	福岡県福岡市
用途	病院
構造・規模	S造/地上7階建
延床面積	約22,500㎡
C	M：株式会社プラスPM
設計	計：株式会社日本設計
施設	工：鹿島建設株式会社
竣工	工：2021年2月

白十字病院が竣工しました

福岡市西区で新築工事を進めていた社会医療法人財団白十字会 白十字病院様が、このたび竣工を迎えました。白十字病院様は地域の中核病院として長年貢献されていましたが、既存施設の老朽化や急性期医療機能の拡充のため、移転を検討中でした。そのような折、一区画先の市場跡地の公募が出され「地域の健康を育み、安全・安心を支える Life Space」をテーマに医療機能向上だけでなく、地域交流スペースや有事には防災広場にもなる健康フィットネス広場を提案し、敷地を取得されました。

当社は基本設計段階から着工までの2年以上に渡って建設プロジェクト推進を支援しました。高品質で機能的な設計を活かしながらコストを適正化し、発注においても補助金事業では先進的な「指名競争入札総合評価方式(入札前VE)」を採用しました。急激な工事費上昇が続いていた九州地方において予算内での発注を果たし、病院様の地域にかける想いの実現を支援しました。

※入札前VEとは…参加者から提出されたVE提案を発注者が審査し、採否を参加者それぞれに伝達、採用された参加者は、入札資料と採択された独自のVE提案を基に入札する仕組みである。これにより参加各社は自らの技術力を生かし、提案内容を入札価格に反映することが可能となる。ただし、発注者側で技術提案を公平に審査するため、専門家の関与が必要である。

八反丸リハビリテーション病院の基本設計が始まりました

本計画は、地域で一番のリハビリテーション病院を目指して、老朽化した既存病院を道路向かいの敷地に移転し、全面建て替えを行うものです。

当社は、病院様の目指す姿をヒアリングしながら、予算を最大に活かせる建設計画とするための、基本構想策定を支援しました。引き続き基本構想の内容に見合った設計となるよう、基本設計段階の業務を行って参ります。

八反丸リハビリテーション病院建替事業

事業主	医療法人慈圭会 八反丸リハビリテーション病院	C	M：株式会社プラスPM
建設地	鹿児島県鹿児島市	竣工	工：2023年(予定)
用途	病院		
構造・規模	構造未定/地上5階建(予定)		
延床面積	約6,500㎡		

Special 対談



元 厚生労働省 健康局長
久留米大学 特命教授

佐藤 敏信

X

株式会社プラスPM
代表取締役社長

木村 譲二

医療界の再編時代の課題を探る

<https://www.plusweb.co.jp/vision/vol02.html>

全文を読む ▶

